



2019

第34号

春

ひだまりに 小鳥 さえする ボクのみち

過去 23 回に渡るトーク&ライブひだまりクローバーは、当初「ひだまり作業所」への経済的支援を市民に訴える事から始まりました。

現在このトーク&ライブは「こころの病」への理解を目指しての啓発事業をベースに生駒市民と精神障がい者の交流イベントになっています。

参加者の方々も年配になられ、もっと壮年の方や中年の方々にも参加していただきたいと実行委員会で話し合っていました。一昨年より学童保育所のお子さんを連れた父母の皆さんも参加しておられます。

第23回 トーク&ライブ ひだまりクローバー2018



報告

トーク&ライブひだまり

榎田尚彦



僕は、このイベントを通じて舞台上上がる事の、おもしろみを覚えました。

開演時刻に至るまでの流れに心の騒がしさを隠せずにいきました。

何回もトイレに行ったり、ドリンクを飲んで、待ちました。はなの仲間の方がピアノで舞台上上がる前に共に励まし合い、楽しく過ごせました。

朗読家は前から、やっていて心を、一字、一字に込めて力強く朗読に、精一杯でした。見ていただいた方々に拍手をもらえた瞬間に喜びはありました。

僕たち朗読や演奏の仲間たちの発表を、生駒で行なわれるたびに未来のイコドルと呼んで貰えたら何より、幸せでございます。これからも応援の方、よろしく願いいたします。



春夏秋冬・年4回、機関誌「ひだまりクローバー」を発行しています。会員にはこのほか、「トーク&ライブ(年1回)」「こころの市民講座(年2回)」の案内などをお送りしています。会員以外にご購読/ご希望の方は下記までご連絡ください。〒630-0214 奈良県生駒市東生駒月見町 231-5 坪田 博方 連絡先 TEL0743-74-9652

「ひだまり家族会」と「生駒精神障がい者後援会ひだまりクローバー」は各々、個別の団体です。

精神障がい者の家族の会「ひだまり家族会」の2019年5月・6月・7月例会予定 定例会は毎月第3土曜日

- 5月例会 18日(土) 1時30分~4時
- 6月例会 15日(土) 1時30分~4時
- 7月例会 20日(土) 1時30分~4時
- 通常例会 会場 生駒市市民活動推進センターららぽーと3階
- ひだまり家族会 会費一月300円(年3,600円)
- 連絡 TEL 0743-78-0885(上村)

大変な変化 ● 誰か教えて?相談のしかた ● 障害者手帳って? ● 引きこもり10年? ● 統合失調症・治療とくすり ● 認知症: 老いた介護5年 ● 復職したい ● 訪問介護って ● 無年金/親亡き後 ● 息子が発達障害かも? ● 一人になったら? ● グループホームって?

個人の相談ではなく、相談のしかたを教わります

第29回 こころの市民講座

「こころの病」解らないことだらけ...

どこに行っても、何をどう話せば伝わるのだろう? とまどっているみなさんへ

相談のしかたが分ってきます。

◆安心の生活を求めて...利用することを学びましょう。

2019年 **7月27日(土)**
 (セイセイビル) 13:30(受付) 14:00~16:30
場所 生駒市コミュニティセンター 4F会議室

●参加費: 無料(申し込み不要/先着80名)
 ◆共催/生駒市・生駒精神障がい者後援会 ひだまりクローバー
 ◇問い合わせ/地域活動支援センター・コスモールいこま TEL0743-73-0900

↓ 各分野・専門家などが相談のしかたをアドバイス。

■解説メンバー(予定):それぞれの役割で市民、障がい者の相談に乗りサポートしています。

- 精神科医
- 精神障害者家族会
- 臨床心理士
- 民生児童委員
- 精神保健福祉士
- ピアサポーター
- 精神科ホームヘルパー
- 生駒市障害福祉課

あなたの悩み・相談事を朗読劇で上演

精神科病院から退院の予定です
 それじゃ...まず、街に出て、次は〇〇、次は〇〇〇
 どうしたらいいかわかんない
 窓口は1000 20000 3000よ
 手帳や年金のこと知りたい

ひだまりクローバーは多くの人に「精神疾患」「精神障がい」について、できるだけ正しい知識を持ってもらうことと、障害のある人の活動支援を目的とする生駒市の市民団体です。

家族がかわりかかっているから... 作業所に行きたくない... 料理が苦手... 洗濯が苦手... 掃除が苦手... 掃除機が苦手... 掃除機が苦手... 掃除機が苦手...



発達障がい？

こころの市民講座で飯田順三先生(人間発達学)の「発達障害の理解とケア」を学びました。会場は満席で発達障害の関心の深さに驚きました。

私自身が“発達障害”という言葉が漠然としているように感じて、理解がし難く悩んでいましたが、先生の資料に基づいたお話に、自閉症、注意欠如・多動症、学習障害のそれぞれが、①社会性の障害②コミュニケーションの障害③想像性の障害と、“障害”となることが共通している部分で“発達障害”とよばれることが分かりました。

飯田先生の障害の説明とその対応、ケアなどがとても分かりやすく、まだまだ講義を続けて欲しいと思いましたが、時間が足りずにとっても残念でした。

その後、障害を持つご本人のお話は、生活面で体験をされたことや子育てのご苦労などを聞かせていただきました。

また、21歳の息子さんとの試行錯誤の付き合い、素晴らしい支援をされたお母さんのお話は、障害の有無に関わらず、子育てする親の関わり原点を実行されたようで、教えられ感動をしました。

最後に飯田先生からの言葉…子どもが旅立つときはなむけは「お前が生まれた時、お父さんとお母さんは本当にうれしかった。というだけである」という言葉が心に残りました。

西谷光子(副代表)

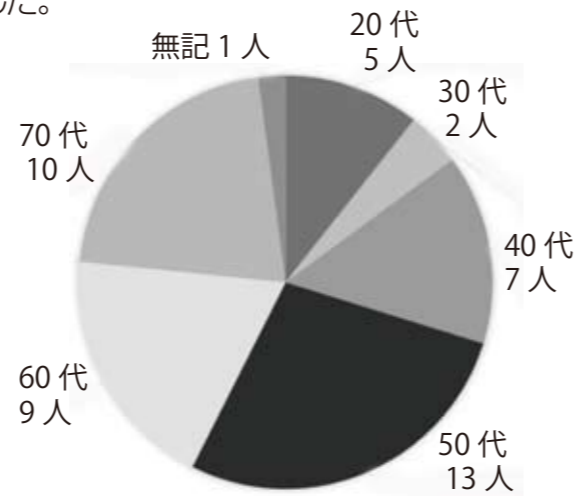
こころの市民講座

アンケート結果



アンケート集計は48人でした。若年層の参加も増え、より幅広い層の方々が興味を持つ内容であったと思います。また講座の感想では、大変良かった26人、よかった17人、ふつう1人と、良くなかったという意見はなく、今後の講座開催を希望する方も43人でした。

アンケート内容は、飯田先生の話が資料も多くてわかりやすくよかったという意見が多数でした。自分自身や、家族、支援者それぞれの立場から、発達障害について理解できたことが記載されていました。また、吉田さんや三田さんの話を聞いて共感したとの声も多く、先生や家族、当事者の話をもっと聞きたいと、多くの方から意見がありました。



“おとなの発達障害”も知りたいと思います。

くわしく聞いてみたい。「愛着障害と発達障害の類似点」

医師という上から目線ではなく、愛を持って当事者と接して下さっている先生のお人柄を感じています。

こだわることに周りがこだわらないという言葉が心に響きました。

発達障がいの人の支援の仕方(どこにまず相談したらいいのか、就職支援の仕方)が知りたい。

「社会資源」



神澤 創 KAMIZAWA TSUKURU
帝塚山大学 心理学部心理学科 大学院心理科学研究科教授 [研究領域] カウンセリングや心理療法など、個人の幸福感やQOLを高める実践的なアプローチに関心があります。最近では自殺対策や精神障害者支援など、主にコミュニティで活動しています。[社会的活動] 奈良県自殺対策連絡協議会 座長、生駒精神障害者ひだまり後援会代表

□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□

原稿未定



職場内で発達障がいと思われる方がおられ、関わり方に悩んでいたのが、少し理解することができたと思う。

吉田さんの「人とくらべない・がまん・応援・みとめる」が勉強になりました